

吐文尊者周府好ゆさげさ
遠く別をよめ入るをばひさる
後田まの自れまの書おる
又のまをさくあつらふ

吐のあつらふ天物の管おる

書言

其みの國へおる白

小坊主の拾得さきさき
一筆おる

吐文

御前山が

尚糸

吐のまをらにさる

